

西湖西地区

高齢者が元気な地区。毎年1月～2月に漬物まつりをしていて、それを楽しみにしている。漬物にする野菜は種から蒔いて、育てている。高齢者は若い人に作ってやる、教えてやることも生きがいになっている。若い人が少なくなっているが、周りで助け合いが出来る地域なので安心。



皆さん、活発に意見を交わされていました。地区のことをよく理解され、良くしていきたいという意欲が感じられました。次回は11月11日(金) 19:00～ 足和田出張所 です。今度は、皆さんが「こうならいいな。こうしたい!」ということについて具体的にどうしていったらいいか考えていきます。ご近所の方も誘ってぜひ参加してください

大嵐地区

地域で困った時に頼りになる人は、区長さん。窓口になってくれている。お互いが見守りあえる体制もとれており、防災マップも作成してある。今は、元気な人が多い、10年から20年後は全体的に衰えてくるので何かしていきたいと思う。



第2回

足和田の今、未来を考える

平成28年10月3日(月)

足和田出張所で
第2回

「足和田の今・未来を考える会」
が開催されました。

出席者は18名

今回はより身近な生活について、「移動手段は? 雪かきは? 食事は?」等どうしてますか。10年後20年後はどうしているでしょう? どんなふうにしていきたいですか? ということについて話し合いました。



長浜地区 ①

自分の体の健康状態を知ることは大切。健診を受けることも大切。70～80歳代の方は気持ち明るく、若い人ともコミュニケーションをとっている。お互いがコミュニケーションをとる場所を増やしていきたい。



長浜地区 ②

一人暮らしの高齢者の把握は出来ている。何かの時には声掛けも出来ている。歌、編み物など得意な人はいるが、集まって活動はしてない。集える場があれば定期的に安否確認もできる。気楽に集まれる場があれば出来ることも広がり、活力になる。まずはカラオケからしてみようという話も出た。



西湖・西湖南地区

地区が碁盤目状になっているのでみんなで助け合うことも出来る。今も住民全体の7割が60歳以上。10～20年後は2/3近くが死んでしまう。男が減る。地区が消えてしまう。民宿村が維持できない。民宿に使っていた空家などは10人～20人は集まれるから、活用できるかもしれない。集まったときに食事会を開けばいい。

